少年陰陽師～永遠に続く誓い～

宵千鬼江

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
少年陰陽師～永遠に続く誓い～

【Ｎコード】
Ｎ２９７７Ｚ

【作者名】
宵千鬼江

【あらすじ】
晴明と昌浩が現世をさってから１０００年余りが過ぎた。この二人に心を開いていた十二神将騰蛇こと紅蓮は、再び心を閉ざしていた。晴明と昌浩の願いで今だ安倍家に仕えているものの、紅蓮の神気の強さにおびえる者ばかりだったからだ。そんな紅蓮を、道反の大神と知り合いだったため、時折現世に降り立ち、術を使うことまで許された晴明と昌浩は心配しながら見ていた。しかし一向に紅蓮が心を開かないので、晴明と昌浩は道反の大神に頼み込み、術を使って昌浩を現世に戻すことにした。

こうして、安倍昌浩は再び現世に生を受けた。

再会（前書き）

初兆戦です。少年陰陽師の二次創作。途中で挫折するかもしれませんが、よろしくお願いします。

再会

異界に閉じこもっていた十二神将騰蛇こと紅蓮は、背後に神気を感じた。
＜勾、何の用だ。＞
＜なんだ、用が無ければ来てはだめなのか？ここは私たちの異界だぞ＞
＜用はないのか。＞
＜昌明に子供が生まれた。見に行ってみろ。＞
＜どうせおびえて泣くに決まっている。＞
＜行くだけ行ってみろ。あいつの霊力が珍しくてな。青龍まで見に行っている。＞
＜青龍まで？わかったよ。行けば気が済むんだな。＞
＜そうだ。＞
仕方なく、紅蓮は人界に顕現した。その部屋ではぐっすり寝ている赤子を取り囲んで十二神将がいた。
紅蓮が顕現したことに気がついた十二神将たちは紅蓮が予想していた通りの反応をした。
太陰は隣にいた百虎の後ろに隠れ、青龍は即座に異界へ戻った。多少態度が軟化したものの、１０００年前から十二神将たちの紅蓮に対する接し方は変わらない。それら全ての反応を黙殺した紅蓮の背後にまたもや神気を感じた。
＜勾、帰っていいか？＞
＜まだ赤子を見てないだろう。見てたらお前はそんなことは言わない。・・・・ほれ。＞
＜お、おい？赤子は嫌いだとあれほど・・・＞
＜その霊力、懐かしくないか？＞
＜・・・・！？昌浩の霊力にそっくりだ。＞
＜そうだ。泣いてもいないだろう＞

＜！！＞
心底驚いている紅蓮を見ながら、十二神将たちも同じことを考えていた。
そこに、昌明が来た。
＜お、昌明、この子の名前はなんと言うんだ？＞
＜あぁ、勾陣、十二神将の皆様もおそろいで。＞
紅蓮を恐れている昌明は言葉遣いに気をつけながら、赤子の名前を言った。
＜昌浩と。＞
＜＜＜＜＜は？＞＞＞＞＞
＜＜＜＜え？＞＞＞
異口同音に声を上げる十二神将たちの後ろで、紅蓮は声も上げられぬほど驚いていた。

親ばか（前書き）

少し前置きが長くなってしまいました。少年陰陽師、めげずに二作目です。

親ばか

昌浩の世話をしていた紅蓮は、１０００年ほど前のことに想いを馳せていた。名前も同じ、霊力も同じ、もしかしたらこの子は昌浩の生まれ変わりではないかと十二神将は期待していた。しかし、陰陽術を教えようにも今は平成、術など必要ないからと最近は術を受け継ぐことをせず、見鬼の才だけが受け継がれている状態になっており、十二神将も呪文を知っていても使うことはないので術の発動の仕方を教えることはできなっかった。悩む十二神将の中でただ１人、ここにいてくれればそれでいいと、紅蓮だけが昌浩を親のように世話していた。

＜どうしたんだ昌浩、そんな顔して。＞
＜れ～ん、ボ～っとしてた。だいじょうぶ？＞
＜ああ、すまない、大丈夫だ。＞
＜れ～ん、れ～ん、そといこ。＞
＜外？危なくないか？＞
そこに、勾陳が顕現した。
＜私とお前がいれば問題ないだろう。＞
＜それでいいのか？＞
＜闘将が二人だぞ！？この時代は害をなす妖怪なんぞそうそういない。大丈夫だ。＞
＜でも万が一ということも・・・＞
＜大丈夫だ。そうこういってる間に昌浩が出て行くぞ。＞
＜何！？＞
見ると、昌浩が裸足のまま外へ出て行こうとしていた。
＜昌浩、勝手に出て行くんじゃない。驚いたじゃないか。＞
＜れ～ん、あそぼ。＞
＜わかったよ。＞

昌浩に引かれていく紅蓮を見ながら、勾陳はつぶやいた。
＜まったく、親ばかにもほどがあるな。＞
勾陳の独り言にその場に隠行していた十二神将たちは大いに頷いた。

親ばか（後書き）

誤字脱字、あったら教えて下さい。途中で訂正したりするかもしれませんが、その辺はお願いします。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n2977z/

少年陰陽師～永遠に続く誓い～

2011年12月11日14時47分発行